

第59回 『あいおの会』

- 失語症友の会 -

1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの方は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

2、第59回「あいおの会」

平成30年5月13日(日)国際医療福祉大学熱海病院にて、第59回失語症友の会が開かれました。今回は失語症患者様10名と言語聴覚士6名にて開催しました。

今回は、自己紹介カード作成と自己紹介カードを使ってクイズを行いました。自己紹介カード作成では、皆さんキレイにカードの装飾を行っていましたね。そして、自己紹介カードに書かれている内容についてクイズをしました。お互いの共通点や興味をひく話題も出て、大変盛り上がりました。歌は、“茶摘み”と“上を向いて歩こう”を歌いました。大人数で歌うと、とても楽しいですね。

生憎の天気でしたが、久しぶりに多くの方に集まって頂けたので楽しかったです。次回開催時はますます蒸し暑くなっていることかと思いますが、皆様にお会いできることを楽しみにしております。



次回は、7月8日(日) **10時** 国際医療福祉大学熱海病院 大会議室で行います。

※次回より、開催時間が午前中からに変更となります。ご不明な点は、ご連絡下さいませ。